

保護者各位



ほけんだより 特別号

百合が丘 ひまわり保育園

作成者 病児室



窒息事故を防ぐ子どもの気道異物除去の救急対応について



都内の幼稚園で4歳の男児がブドウをのどに詰まらせて亡くなった事故を受け窒息したときの救急対応の講習を園で行いました。いざという時にあわてず・あせらず日頃からの訓練が大切です。

背部叩打法ポイントは肩甲骨を手の平で叩きます！



いざという時にできるように職員も真剣にとりこんでいます。

・ 乳児の場合

①咳込みがある時には横向きにする

②咳が出せない時には背部叩打法を行う

*うつ伏せにし片手であごを挙上した状態で支え前腕に乗せる。頭を低くして背中を5回ほど叩きます。



事故発生時の対応ガイドラインに沿って誤嚥(食事中)の事故のないようにしていきたいと思います。乳児は叩打法・幼児は胸部突き上げの訓練を定期的に行っています。

頭が下になるよう逆さまにして背中の上をたたく！頭であわていても・・・あわてていると姿勢をとるのが意外とむずかしい～



園では過去に誤嚥・窒息などの事故例のある食材(ミニトマト)などはカットして提供しています。

ブドウ・白玉団子は提供しません。

子どもの気道異物の除去

- 乳児では、腹部突き上げ法は行いません。背部叩打法のみ行います。
- 反応がなくなった場合は、子どもの心停止に対する心肺蘇生の手順を開始します。

心肺蘇生法の手順

- 乳児の気道異物の除去
 - 救助者の片腕に、乳児をうつぶせに乗せ、手のひらで乳児のあごを支えつつ、頭を体よりも低く保ちます。
 - もう一方の手のひらの基部で、背中の中を数回強く叩きます。